

# 事例 37 思考展開シート

## (1) 疾病や薬の副作用等の影響は考えられますか?

・考えられるが、はっきりと断定できない。  
洞不全症候群 ペースメーカー挿入 脳内出血 心不全増悪  
アムロジンOD 牛車腎気丸エキス粒 エスパデールS  
マグミット錠 ガスターD錠 ラシックス錠 モーラステープ  
パントシン散 酸化マグネシウム グラマリール錠 ユーロジン  
PZC糖衣錠 セディール錠

【質問】現在の投薬内容での服薬はどれくらい続いていますか?

【回答】

・約半年です。

【質問】抗精神病薬や抗不安薬などの処方がありますが、医師への報告やその後の指示により投薬量や薬の種類などについて調整をしていますか?

【回答】

・精神科の医師による施設内受診を続けています。量が少なかった時よりも状態は安定し、身体状況のレベル低下も最小限に抑えられていると思います。

## (2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹等による苦痛の影響は考えられますか?

・十分考えられる。  
・左手の変形(強いしびれ)があり、季節の変わり目や天気の悪い日は特にひどい症状が出る。  
・食事等、帰宅せずに車椅子に乗っている時間が長くなった場合、腰痛が激しくなる。しかしそれを自制することは難しい。  
・行動障害が出ているときには、長時間にわたって声を出し続け、最後には呼吸が苦しくなるまで興奮する。

【質問】手のしびれ感や車椅子に乗っている時間などについて、薬で緩和するだけではなく、他にも何かできることはあると思いますか?

【回答】・身体が痛いときには、自ら望んで臥床することが多く、興奮すると車椅子等に乗りっぱなしになって身体状況を悪化させてしまいます。痛みが出ている状況が、結果として身体を休めている時間になっています。

【質問】数日おきに現在の状況になるという周期的な出現について、何かの原因と思われるような身体的な変化はみられますか?

【回答】・興奮の後は、疲れから腰痛も出やすくなり、臥床します。しばらくすると元気になり、興奮状態が始まると考えられます。

## (3) 悲しみ・怒り・寂しさ等の精神的苦痛、また本人の性格等の影響は考えられますか?

・過去の体験が、本人の言動にかなり影響している。  
・空襲で一切の財を失ったこと。  
・せっかく育てた子供達との関係が悪い。  
・性格は勝気で負けん気が強い。また、何でも一人でやってきたという思いが強い。それが、孤立を深めていった要因になっていると思われる。

【質問】大変な人生を歩んできたのだと見受けられますが、その中でもAさんの喜びなどの話を聞いたことはありませんか?

【回答】

・40歳代のことを、「一人で子供の学費を稼いで学校に行かせた。」と得意気に話をするので、一番充実した人生を過ごした頃だと思います。

## (5) 家族・介護者など周囲からの過剰、あるいは少なすぎる関わりの影響は考えられますか?

・子供を食べさせるため、他に趣味も持たず、近隣と交友関係を持たずに働き続けた。一人でやることをポリシーとしてきたことから、他に頼れる人はいない。

【質問】多くの苦労があったと思われるが、子供達との楽しい思い出などを話すことはありませんか?

【回答】

・特に死別した息子を溺愛していたようです。遊んだことの話はほとんど出てきません。孫との思い出話もあまり出てきません。

【質問】子供との関係が今のAさんにどのような影響を与えていると考えますか?

【回答】

・自分から話さない限りこちらから触れないようにしています。忘れようとしていることもあり、記憶障害から忘れていたこともあります。

## (8) 生活歴・価値観等に基づいた暮らし方と、現状とのズレによる影響は考えられますか?

・自分のやってきたことが報われていないと強く思っている。  
・必要以上のものは購入せず、古くからのものを大切に使っていた。  
・歳をとってからは、小さな部屋で暮らしていた。  
・今まで、贅沢をしたことはなく、生活はこざっぱりとして質素だった。早くに夫を亡くし、Aさんが働き、家計を守った。  
・制限の多い施設の暮らしだが、贅沢をしていないため、施設生活においては大きな価値観のズレはないと思われる。

【質問】複数の方との共同の暮らし(人の存在など)である現在と、以前の暮らしとのズレが、精神的な不安定さにつながっているのではと感じられるような出来事はありますか?

【回答】

・他人の生活に干渉しない性格です。ですから無関心な状態が多いと感じます。ただ、同室者の大声に反応することがあります。

### 本人の言葉や状態

ワークシートC- に書いた、本人の言葉や行動を書き出し、関連のありそうな情報を整理してみましょう。

・「貸した金を返して欲しい」  
・「子供のことが心配だ」  
・「子供は元気ですか」  
・「子供はちゃんと生活しているでしょうか」  
・「あんな子供にしまったのは私だ」  
・「苦労ばかりしてきて報われない・・・」  
・「一生懸命生きてきた自分が不幸にならなくては・・・」  
・「なんとかしてもらえないでしょうか」  
・数時間話し続けると、疲れ果てて眠る。  
・説明を記憶することが困難で、数日おきにその状態になる。

## (4) 音・光・味・臭い・寒暖等感覚的な苦痛を与える刺激の影響は考えられますか?

・考えられる。  
・天気が下り坂のときや、季節の変わり目には、辛いという訴えがある。  
・また、同室者が、大きな声を発することがあり、その際には気分が穏やかでなくなることがある。

【質問】感覚的な刺激の影響について取り組みをすればしたら、どのようなことが考えられますか?

【回答】

・音は、耳が遠いため影響は少ないと思います。視覚的には、他の入居者の家族が面会したりする状況を見せないほうが良いと思っています。  
・寒暖や臭いについては、問題ないと考えています。

## (6) 障害程度・能力の発揮に対して、住まい・器具・物品等物的環境による影響は考えられますか?

・近時記憶は障害されていても、認知能力は比較的保たれているため、自室や食堂のもの等で、認知できないものはほとんどない。  
・下肢上肢の不自由はあるものの、今の生活の中で、大きな影響がある程度とは考えられない。

## (7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティー(活動)とのズレによる影響は考えられますか?

・入居前は、家事の一切を行っていた。現在、行っていないことについての理解は、その場の認知力はあるので、特に家事等への参加の意思はない。  
・働くこと以外の唯一の楽しみは、動物を飼うことだった。

【質問】これまでの動物との関係について、どのようにAさんは話していますか。また、今後動物を介した関わりを考えるとしたら、どのような変化が表れるのではとイメージしますか?

【回答】

・子供が所帯を持って離れ、一人になっていた時に、動物を飼って寂しさを紛らわしていたと聞いています。  
・何かを育てるといったことで、役割を得て、寂しさを取り除けるのではないかと考えています。スタッフとの会話のきっかけになることも期待します。